

# 先輩職員の声【経験者採用・事務官】



Aさん（総務部厚生課・係長）  
入省：令和2年4月  
前職：百貨店（11年）

R2年度～：浜田河川国道事務所 道路管理課 特殊車両係長  
R4年度～：本局道路部路政課 行政第一係長ほか  
R7年度～：本局総務部厚生課 係長  
R8年度～：本局総務部人事課 係長

※令和8年度時点の情報です



## ●中国地方整備局を選んだ理由は何ですか？



以前は百貨店や接客業が好きで、百貨店に勤務していました。しかし、年月が経つにつれ、自身の将来を考えた時に不安を感じて転職を考えていたところ、ふらっと立ち寄った転職フェアで話を伺ったことがきっかけです。その際に、自分が生まれ育った中国地方で道路等のインフラ整備や管理に携わることができる仕事に魅力を感じ、また、公務員であれば前職のように経営状況によらず、安定して定年まで働くことができる点に惹かれ、中国地方整備局を選びました。

## ●これまでどんな職務をやってきましたか？



入省1年目からは、島根県浜田市にある事務所の道路管理課で、国道を通行する大型トレーラー等の特殊車両の指導・取り締まりを警察と連携して行うなど、道路の管理に関する業務を行いました。入省3年目からは、広島市にある本局の道路部で、道路に関する許認可事務等について、管内の事務所に対する指導や関係機関との調整といった業務を行いました。入省6年目からは、本局の総務部で、非常勤職員の採用や給与の支給、規則改正等の事務手続きに加え、管内の事務所に対する指導や関係機関との調整といった業務を行っています。入省7年目となる現在では、同じく本局の総務部で、非常勤職員ではなく、職員の人事や採用など整備局全体の事務運営に関わる仕事を担当しています。

## ●サポートはありましたか？



私が入省した頃はコロナ禍のピークでしたので、当初予定されていた研修が行えず、入省式の後にはすぐに事務所で勤務することになりました。しかし、上司の方が職場内での勉強会を開催していただき、とてもありがたかったことを覚えています。入省後半年後には広島市で新任係長の研修があり、普段会えない同期との仲を深めることもできました。また、日々の業務においても周りの方のサポートがあり年次休暇も取得しやすく、結婚や出産の際には特別休暇を取得させてもらい、充実したプライベートを過ごせていると思います。

## ●前職の経験は活かしていますか？



前職は百貨店でしたので、公務員でもなければ特に資格があるわけでもなく、これまでの仕事とは全く異なるので最初はとても不安でした。しかし、実際に仕事をしてみると、現場に出向いて地元の方々とお話するといった対外的な仕事も多く、また、職場内でもいろいろな部署や技術系職員と調整・連携しながら仕事をする事も多いので、これまでの接客対応やコミュニケーションスキルについてはとても役に立ったと思っています。

## ●今後の目標は何ですか？



入省して5年経ちましたが、中国地方整備局の業務は幅広く、まだまだ知らない事がたくさんあり、勉強の毎日です。新卒で入省とされた方と比べると経験年数が短いですが、違う職種を経験してきたからこそその強みを活かし、幅広く仕事に携わっていく中でしっかりと知識を蓄え、組織を牽引できるような人材になりたいです。また、仕事は仕事として集中して取り組みながら、オンとオフの切り替えはきっちり行い、プライベートでは家族でたくさん旅行ができればと思っています。

# 先輩職員の声【経験者採用・事務官】



Hさん（総務部厚生課・係長）  
入省：令和3年4月  
前職：小売業（7年）ほか



R3年度～：浜田河川国道事務所 占用調整課 占用調整係長  
R5年度～：松江国道事務所 経理課 契約係長、経理係長  
R7年度～：本局総務部厚生課 安全係長

※令和8年度時点の情報です

## ●中国地方整備局を選んだ理由は何ですか？



以前は接客業をしていましたが、将来のことを考えて迷っている中で転職サイトを閲覧していたところ、中国地方整備局の経験者採用試験が行われているのを知りました。色々調べているうちに、将来に向けた大規模な事業を進めていることに魅力を感じ、中国地方整備局を選びました。以前の職場と違い、勤務日がカレンダーどおりであること、休暇制度が充実していることも選んだ理由の一つです。

## ●これまでどんな職務をやってきましたか？



1～2年目：島根県浜田市にある事務所で河川管理を担当し、河川占用許可について河川管理上支障がないか、法令に適合しているかといった審査や自治体との協議を行っていました。  
3年目：島根県松江市にある事務所で、契約事務を担当し、発注に係る関係部署との調整や発注資料の作成、入札事務などを行っていました。  
4年目：事務所の予算が適正に執行されているかを確認する支払書類の審査や国の債権を管理する仕事をしていました。  
5～6年目：現在は本局の総務部で、公務災害や通勤災害、職員の健康管理に関する仕事をしています。

## ●サポートはありましたか？



いろいろな部署を経験させてもらう中で、新しい仕事に対応できるか心配になることもありますが、研修やセミナーなどの機会があり、不安な点などが少しでも解消できるように考慮されていると感じています。また、部署によって雰囲気は違いますが、基本的にオープンで相談しやすい職場だと思います。プライベートの面でも、周りの方のサポートもあり、希望どおりに休暇取得できています。

## ●前職の経験は活かしていますか？



業種が違うので、前職の経験が直接的に役に立ったことはありませんが、周りの方が相談に乗ってくれ、サポートしてくれるので困るようなことはありませんでした。前職の経験が間接的にも活かせる場面はあると思いますし、全く違う仕事でも、これまで特に気になったことはないので、不安にならずに挑戦してみてください。

## ●今後の目標は何ですか？



入省して5年経ちますが、まだまだ知らない仕事がたくさんあります。今後いろいろな仕事に携われるようにスキルアップを続けていきたいと考えています。また、経験した仕事では誰にも負けなれないと言える知識と経験を身につけ、周りから頼られるような存在になりたいです。

# 先輩職員の声【経験者採用・事務官】



Mさん（総務部総務課・係長）  
入省：令和3年4月  
前職：自動車関連業（11年）

R3年度～：広島国道事務所 管理第一課 指導係長  
R4年度～：本局建政部計画・建設産業課 建設業係長  
R6年度～：本局建政部建設産業課 特定転貸事業適正化係長  
R7年度～：本局総務部会計課 決算係長  
R8年度～：本局総務部総務課 総務係長



## ●中国地方整備局を選んだ理由は何ですか？

※令和8年度時点の情報です



民間企業に勤務していた頃は、その所属先が株式会社という性質上、営利を目的として設立された法人であるため、その時々の上高や財務状況によって、自身の意とは違う方向へ将来のビジョンや中長期的な経営方針が変更されることがありました。

公務の世界では、いわゆる全体の奉仕者という立場で外的要因の影響に左右されにくく、自身の信念に基づいて、長く働き続けることができると感じたので、中国地方整備局を志望しました。

## ●これまでどんな職務をやってきましたか？



入省1年目は、広島市にある事務所で道路管理や道の駅の建設に携わり、地方自治体との協議や各種申請の許認可事務を経験しました。2年目から4年目までは建政部へ配置換となり、建設業及び不動産管理業の許認可や指導・監督を担当し、行政としてできること、できないことを上司と相談しつつ、多種多様な事案を経験することができました。5年目からは総務部へ配置換となり、会計課では主に会計検査に係る対応、現在所属している総務課では各部各課の所掌に当てはまらない様々な業務を担当しています。

## ●サポートはありましたか？



入省以降、初めての経験となる業務が続くこともありましたが、その時々の上司や同僚の方々に親切・丁寧に業務を教えていただきました。そういった日々を積み重ねていくことで、自信へとつながっていったケースも多々あります。

私自身もそうだったのですが、社会人経験者として何ができるのか、入省当時は不安に感じることも多くありました。そういった経験から、時には社会人経験者同士で懇親会を開催し、同じ悩みやこれまでの経験を共有するように努めています。

## ●前職の経験は活かしていますか？



前職では顧客対応をすることも多くあったので、内外との折衝を必要とする業務では、その経験を活かすことができたと感じています。私は自動車業界で約11年間、働いていましたが、業界に近い分野の相談に対しては、過去の経験・知識から多角的なアドバイスができることもありました。社会人経験者の採用が始まって以降6年が経過し、私の周りにも様々な経験を持った社会人経験者の方が増えてきているので、日々の業務を行っていく上でも、そういった方々の存在をとっても心強く感じています。

## ●今後の目標は何ですか？



今はまだまだ周りの方々へ頼ることばかりですが、将来は同僚や部下から頼られる存在となれるよう、日々の業務に真剣に取り組むよう心掛けています。時に旧態依然とした業務を担当することもあります。少しでも民間の経験や視点を取り入れて業務のスリム化につなげられることはないか等、試行錯誤することも忘れずに、楽しみながら成長していきたいと考えています。

# 先輩職員の声【経験者採用・事務官】



Yさん（用地部用地補償課・係長）

入省：令和4年4月

前職：自動車ディーラー（17年）

R4年度～：広島西部山系砂防事務所 用地課 用地第二係長

R5年度～：広島西部山系砂防事務所 用地課 用地第一係長

R6年度～：本局用地部用地対策課 業務調整係長

R8年度～：本局用地部用地補償課 調整係長

※令和8年度時点の情報です

## ●中国地方整備局を選んだ理由は何ですか？



平成26年8月豪雨による広島市土砂災害が起こったあの夜。まだ2歳だった長男と9ヶ月の長女を抱きしめながら、滝のしぶきのような雨の音と山から聞こえる地鳴りのような音の中、私は不安でたまりませんでした。

それからというもの、「子どもたちが安心して暮らせる町」のために私にできることはないか、また、一度きりの自分の人生を後悔したくないという考えが頭から離れず、インフラ整備を行っている中国地方整備局を希望しました。

## ●これまでどんな職務をやってきましたか？



1～2年目。広島西部山系砂防事務所用地課で、砂防事業のための用地買収を行いました。地域を守る砂防堰堤なので協力的な地権者さんが多く、交渉にもやりがいを感じました。

3～4年目。本局用地部用地対策課で、事務所が行う補償事務手続きについての審査・指導業務を行いました。勉強することが多く充実の2年間でした。

入省5年目の現在は、本局用地部用地補償課で、地方公共団体からの補償に関する照会に対する回答や、事務所用地職員の研修などを行っています。

## ●サポートはありましたか？



用地業務は範囲がとても広く深く、勉強する内容が多岐にわたります。そのため、研修の種類も非常に豊富で「はじめての用地事務」「基礎知識習得」「スキルアップ」「実践的能力向上」「新任用地係長に必要な知識」など様々なメニューがあり、研修に参加していると横とのつながりが自然に生まれます。

また、事務所用地課では「勉強会」も開催されていて、上司や先輩が実務の中で計画的に指導してくれるサポートも充実しているため安心です。

## ●前職の経験は活かしていますか？



自動車ディーラーに17年間勤めていたので、初めは組織文化の違いにかなり戸惑い、自分にはここでできることは何もないのではと不安になりました。

それでも、現場で何度か地権者さんに「丁寧に聞いてくれるから、話がしやすいね」「よくわかる説明だったよ」と言ってもらった機会があり、これまで培ってきた接客対応やコミュニケーションに関わる部分については、前職の経験を生かすことができるかもしれないと感じることができました。

## ●今後の目標は何ですか？



前職から離れようとしていた当時、仕事も会社も本当に大好きでした。正直者の私は採用面接の場でもそのことを伝え、なぜ転職するのですかと試験官に驚かれました。

自分の一度きりの人生、やってみたいことをやりたい！

今は一歩を踏み出すことができたあの時の自分と、応援してくれた家族に感謝しながら、「子どもたちが安心して暮らせる町」という夢を実現するため、国の直轄事業の推進を支える事務系職種、用地職をこれからも探求したいと思います。